

編輯室の内外

多事多難なりし昭和十五年を見送り、紀元二千六百一年といふ新世紀の第一年を迎へた。聖壽の萬歳を壽き、聖詔を服膺し、一波一瀾、怒濤をまき起しつゝある世界の情勢を轉換して眞の世界的和平をもたらす爲に如何なる盤根錯節をも剪除し行くの勇氣と實行力を具備しなければならぬ、希くは同志各位の高擧により筆硯を新にして文章報國の誠を盡さんことを

紀元二千六百年並道路法施行二十周年記念の爲十二月號を特輯號として送りに出した、政界の風雲あわただしく而かも短時日の間によくも四百數十頁に道路行政の各方面からの内容充實せる記事を以て全部を充たして居ること、聊か以て誇とする所であるが之れも偏へに同志諸彦の賜であること告白し感謝する次第である。

獨逸はゲン／＼英吉利を攻め立て居る、舊臘の如き倫敦三百年來の業火で紅焰のクリスマスと稱せらるゝ程の大爆撃を行つた海に陸に英吉利の苦惱は同情に超ゆる、誤算に基く人間の張情も大概見透をつけて清算してはどうか、夫れにしても米國ルイザヴエルト大統領が二十九日の夜フアイヤサイド・チャット放送を行ひ日獨伊樞軸國を攻撃し米國を民主主義の爲め最大の兵器廠として對英援助の強化を高調し民主主義國危機切迫を叫んだ、何時まで目醒めざるに

編輯室の内外

や米國が援英を固執するも英の崩壊を延長するの力なきは明かである。

無政黨の帝國議會は愈々開會せらるゝこととなつた、果して如何なる秩序の許に圓滑なる運営が行はるであらうか、經濟新體制問題といひ、官僚統制問題といひ、衆議院議員選舉法問題といひ將又大政翼賛會に對する憲法問題といひ容易ならざる重大案件が審議せらるゝであらう、政府の立場からの視方と議員の立場からの考へ方と各々其の異なる所感ずるの異にするのは當然である、乍去複雑怪奇なる世界の情勢を洞察して日支事變の處理、東亞新秩序の建設、東亞共榮圈の確立、新世界樹立の指導の目標に向つて眞摯なる行動に出でんことを切望する。

經濟新體制問題をめぐつて種々の噂か傳へらるゝか卒直にいふと革新官僚と稱せらるゝ人達は財界の巨頭達を舊體制の連中と考へ込み、財界の巨頭達は革新官僚を一體何をどう考へて此經濟界を何處へ持つて行かうとするのかと見て居るとの噂が耳に入るのである、事の真相はどうであるか之が經濟に於ける政治の貧困と評せらるゝ理由となつて居るのか、門外漢には禪問答の感がある併し革新と非革新とが抗争するか妥協するが夫がどうあらうとも歴史的要請はいなむことを許されない。

平沼内相の内務省では甫めて御用おさめけたる大赦が行はれ省員一同は各々交付を受けたる大赦詞を手にして謹み畏みて参列し

た、碎放、溝埋、隨放、頻時、串刺、生剝逆剝、屎尸等の天つ罪。生膚斷、死膚斷、白人、胡久美、己が母犯せる罪、己が子犯せる罪、母と子と犯せる罪、畜犯せる罪、昆蟲の災、高つ神の災、高つ鳥の災、畜介し、蟲物せる罪等の國つ罪の分類の詞は省略せられて居るが吾れ人共に此辛巳の歳に於ては種々の罪に對しては蛇の如くさく之を自覺しすが／＼しき心構を以て職域奉公の實を擧ぐべきである。

數年間の懸案であつた官界新體制としての文官制度改革遂に成熟す、さもあらはあれ其の效果の大ならんことを庶幾ふ。(洗)

定價一部 五十錢
一ケ年分 金六圓

發行所 東京市麴町區霞關一丁目内務省内
社団法人 道路改良會

發行者 東京市世田谷區代田壺丁目七八〇
電話銀座(57)〇四二七

編輯者 小島 效

印刷所 東京市小石川區諏訪町五六
常磐印刷所

印刷者 奈良直一